

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市立小中学校備品整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		小樽市		
交付金事業実施場所		小樽市忍路他25件		
交付金事業の概要		市立小中学校において、児童生徒が使用する机及び椅子の多くが劣化していることから、児童の学習環境の整備を図るため、机及び椅子の更新を行います。(対象20校、机の天板60枚、椅子717脚、机55台)		
総事業費		3,558,924	交付金充当額	3,392,000
			うち文部科学省分	
			うち経済産業省分	3,392,000
交付金事業の成果目標		市では、市立小中学校の机と椅子について現状調査を行なったところ、老朽化により劣化が進んでおり、学校やPTAからも更新の要望が寄せられているところです。市では平成29年から31年度までの3ヵ年計画で段階的に更新を行なうこととしており、今年度から交付金を活用して更新に着手します。この更新により児童生徒の学習環境の整備を図り児童生徒の学習意欲の向上を目指すとともに、地域住民の福祉の向上を図ります。		
交付金事業の成果指標		対象となる小中学校において、児童生徒が使用する机及び椅子を平成29年度は、小学校では机(天板)を60枚、椅子を487脚、中学校では机を55台、椅子を230脚更新します。 平成31年度までの整備目標(小学校:机(天板)計200枚、椅子計1,485脚、中学校:机計180台、椅子計690脚更新)		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、市内の小中学校20校において、平成29年度で机の天板60枚、椅子717脚、机55台が更新されました(平成29年度の整備予定数:100%整備)。学校からは、真新しい机と椅子で2学期を迎えることができ、児童生徒も大変喜んでくれるとの声も聞かれ、学習環境の整備が図られるとともに、本交付金に対する理解を得られたところです。なお、整備状況については、市のホームページで公表し、今後も引き続き机や椅子の更新を進めて学習環境の整備を図り、地域住民の福祉の向上と理解促進に努めていく予定です。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額
物品購入		指名競争入札	(株)ときわ事務器	3,558,924
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度 該当なし				

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。  
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。  
(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。  
(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。  
(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。  
(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。  
(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。